

## 第三者意見・検証報告

信頼性を高めるとともに、社会の期待に応えるレポートとするため、第三者意見・審査をいただきました。

### 第三者意見



#### 水尾 順一 氏

駿河台大学名誉教授・博士（経営学）  
一般社団法人 日本コンプライアンス&  
ガバナンス研究所代表理事/会長

（株）資生堂から、駿河台大学教授・経済研究所長等を経て2018年3月末退職、現在に至る。  
（株）ダイセル社外監査役。2010年ロンドン大学客員研究員他。著書『サスティナブル・カンパニー〜「ずーっと」栄える会社の事業構想』  
（株）宣伝会議など多数。

オカムラグループ（以下、同社）のSustainable Report 2024について、企業で経営倫理の実務を推進し、大学とその後の現研究所でもその理論構築を通じて「CSR/SDGsの理論と実践の融合」を促進してきた立場から、以下に第三者意見を申し述べます。

#### 高く評価できる点：

**時代が抱える様々な課題に果敢に挑戦し、オカムラらしさを追求する姿勢を知ることができます。**

新しいオフィスのあり方や働き方に関する調査・研究を生かしつつ、社会にイノベーションの推進と新しい価値を創出する取り組みを進め、本業を生かした「オカムラらしさ」を社会に提言する姿勢について知ることができます。

その一つがサステナビリティを進めるトップダウン+ボトムアップのガバナンス体制の確立です。前者のサステナビリティ委員会によるマネジメント体制と、後者の従業員の参画による全社横断プロジェクトによる、全社一体型になった推進体制が有効に機能していることです。

その結果、オフィス環境事業や商環境事業、物流システム事業などにおける機能性や安全性、耐久性、信頼性をはじめとして良い品質・デザインなどに生かされ、グッドデザイン賞やBest of NeoCon、German Design Award2024など、国内外で数々の高い評価を得ていることを知ることができます。

こうした取り組みは、従業員の成長によって1+1が3以上の力を発揮することが会社を大きくするといわれるように、一人ひとりの従業員の能力開発がカギとなります。同社では「オカムラキャリアジャーニー」を掲げキャリア支援を行い、従業員同士の相互理解の機会、学び続ける機会、挑戦する機会の提供や整備を通して、従業員と会社がともに成長する「人財育成」をめざしており、こうした取り組みについても知ることができます。

#### 今後に期待する点：

**AIの活用による、「攻めと守りのDX戦略」が期待されます。**

同社は、各部門で実施していたDX推進を強化するため、2019年4月にDX推進室を設置、さらに2022年4月にはDX戦略部に名称変更し、全社をあげてDX推進に積極的に取り組んでいます。今後のカギは、マネジメントやマーケティングの領域、さらには新規事業なども含めて、AIの活用を通してDXがこれまで以上に積極的な視点から経営戦略に生かされ、新しい提案や前向きな挑戦が増えること、いわゆる「攻めのDX戦略」が期待されます。一方、これまでの知見をもとに、経営に与える負の影響を予防する側面からの「守りのDX戦略」も重要です。情報セキュリティ対策や自然災害リスク、人権リスク、さらには品質・安全・コンプライアンスなど、多種多様なリスクマネジメントの分野で、リス

ク予測にAIの活用が生かされることが求められます。こうしたAIを活用した「攻めと守りのDX戦略」の取り組みが、同社における今後の持続可能な発展に結びつくことを心から祈念いたします。

#### 第三者意見を受けて

「オカムラグループ Sustainability Report 2024」の発行にあたって、多くの分野のステークホルダーの皆さまより貴重なご意見を多数いただき、それらのご意見を参考にし、持続可能な社会の構築に向けた、当社グループの取り組みを報告させていただきました。

水尾先生には、ご専門のお立場から忌憚のないご意見を頂戴し、お礼を申し上げます。

サステナビリティを進めるトップダウン+ボトムアップのガバナンス体制について高く評価いただきました。現在の推進体制は様々な試行錯誤を重ねてできたものであり、ご評価いただいたことを大変うれしく思います。

また、今後期待する点としてAIの活用による、「攻めと守りのDX戦略」について触れて頂きました。当社は社会課題の解決と持続可能な社会の実現に向けて、先端のデジタル技術の活用を積極的に行っていますが、取り組みを「攻めと守り」の視点で見つめ直し、さらなるDX風土醸成へとつなげてまいります。

今後も、パーパスである「人が活きる社会の実現」に向け、「豊かな発想と確かな品質で、人が活きる環境づくりを通して、社会に貢献する。」をミッションとして、全ての人々が笑顔で生き生きと働き暮らせる社会の実現を目指しています。

取締役 常務執行役員 山木 健一

## 第三者検証報告



第三者検証報告（環境データ）

[https://www.okamura.co.jp/corporate/sustainability/report/pdf/2024/third\\_party\\_opinion\\_ed.pdf](https://www.okamura.co.jp/corporate/sustainability/report/pdf/2024/third_party_opinion_ed.pdf)



独立保証報告書

株式会社オカムラ 殿

ビューローベリタスジャパン（以下、ビューローベリタス）は、株式会社オカムラ（以下、オカムラ）の依頼に基づき、オカムラによって選定されたサステナビリティ情報に対して限定的保証業務を実施した。この保証報告書は、以下に示す業務範囲に含まれる関連情報に適用される。

**選定情報**  
我々の業務範囲は、「オカムラグループサステナビリティレポート 2024」（以下、レポート）に記載された、2023年4月1日から2024年3月31日までの期間の、以下の情報（「選定情報」）に対する保証に限定される。

- ・エネルギー使用量
- ・温室効果ガス排出量
  - スコープ 1 及びスコープ 2 排出量（エネルギー起源 CO<sub>2</sub>、CH<sub>4</sub>、N<sub>2</sub>O、HFC）
  - スコープ 3 排出量（カテゴリ 1、2、4、11）
- ・取水量、排水量、循環利用水量
- ・産業廃棄物排出量、再資源化量、最終処分量
- ・SO<sub>x</sub>/NO<sub>x</sub> 排出量
- ・BOD/COD 排出量
- ・PRTR 対象化学物質（取扱量、排出量、移動量）

但し、各データにおける報告範囲はオカムラの決定に基づく。

**報告規準**  
レポート内に含まれる選定情報は、レポートに記載された報告規準と共に読まれ理解される必要がある。

**限定と除外**  
以下に関する情報のいかなる検証も、我々の業務範囲からは除外される。

- ・定められた検証期間の外での活動
- ・「選定情報」として挙げられていない、レポート内の他の情報

限定的保証は、リスクに基づいて選択されたサステナビリティデータのサンプルと、これに伴う限界に依拠している。この独立報告書は、存在するかもしれないすべての誤り、欠損、虚偽表示を検出するための根拠とされるべきではない。

**責任**  
レポート内の保証の対象とされた情報の作成と提示は、オカムラ単独の責任である。ビューローベリタスはレポート又は報告規準の作成に関与していない。我々の責任は、以下の通りである。

- ・保証の対象とされた情報が報告規準に準拠して作成されたかどうかについて、限定的保証を行うこと
- ・実施した手続きと入手した証拠に基づいて、独立した結論を形成すること
- ・我々の結論をオカムラに報告すること



Ref. BVJ\_21251167



INDEPENDENT ASSURANCE STATEMENT

To: Okamura Corporation

Bureau Veritas Japan Co., Ltd. (Bureau Veritas) has been engaged by Okamura Corporation (Okamura) to provide limited assurance over sustainability information selected by Okamura. This Assurance Statement applies to the related information included within the scope of work described below.

**Selected information**  
The scope of our work was limited to assurance over the following information included within Okamura Group Sustainability Report 2024 (the Report) for the period of April 1, 2023 through March 31, 2024 (the "Selected Information"):

- ・ Energy usage
- ・ Greenhouse gas emissions
  - Scope 1 and Scope 2 emissions (CO<sub>2</sub> from energy use, CH<sub>4</sub>, N<sub>2</sub>O and HFC)
  - Scope 3 emissions (Category 1, 2, 4 and 11)
- ・ Water usage, Water discharged and Volume of water used for circulation
- ・ Industrial waste discharged, Waste recycled and Final disposal waste
- ・ SO<sub>x</sub>/NO<sub>x</sub> emissions
- ・ BOD/COD emissions
- ・ Japanese PRTR (Pollutant Release and Transfer Register) designated substances (Volume handled, emissions and transfers)

Note: The reporting boundaries for each data are defined by Okamura.

**Reporting criteria**  
The Selected Information included within the Report needs to be read and understood together with the reporting criteria stated in the Report.

**Limitations and Exclusions**  
Excluded from the scope of our work is any verification of information relating to:

- Activities outside the defined verification period;
- Any other information within the Report, which is not listed as the "Selected Information".

This limited assurance engagement relies on a risk based selected sample of sustainability data and the associated limitations that this entails. This independent statement should not be relied upon to detect all errors, omissions or misstatements that may exist.

**Responsibilities**  
This preparation and presentation of the Selected Information in the Report are the sole responsibility of the management of Okamura. Bureau Veritas was not involved in the drafting of the Report or of the Reporting Criteria. Our responsibilities were to:



Ref. BVJ\_21251167



### 第三者検証報告（社会性データ）

[https://www.okamura.co.jp/corporate/sustainability/report/pdf/2024/third\\_party\\_opinion\\_sd.pdf](https://www.okamura.co.jp/corporate/sustainability/report/pdf/2024/third_party_opinion_sd.pdf)

独立保証報告書

株式会社オカムラ 殿



ビューローベリタスジャパン(以下、ビューローベリタス)は、株式会社オカムラ(以下、オカムラ)の委嘱に基づき、オカムラによって選定されたサステナビリティ情報に対して限定的保証業務を実施した。この保証報告書は、以下に示す業務範囲内に含まれる関連情報に適用される。

**選定情報**  
我々の業務範囲は、オカムラグループ サステナビリティ レポート 2024(以下、レポート)に記載された、2023年4月1日から2024年3月31日(※一部データに関しては2023年3月21日から2024年3月20日)までの期間の以下の情報(「選定情報」)に対する保証に限定される。

**オカムラ**

- ・男女間の賃金格差(男性の賃金に対する女性の賃金の割合) 全従業員\_2023年度分
- ・男女間の賃金格差(男性の賃金に対する女性の賃金の割合) 正規従業員\_2023年度分
- ・男女間の賃金格差(男性の賃金に対する女性の賃金の割合) 非正規従業員\_2023年度分
- ・育児休暇取得率 合計\_2023年度分
- ・育児休暇取得率 男性\_2023年度分
- ・育児休暇取得率 女性\_2023年度分
- ・従業員のダイバーシティ 男女別管理職比率 男性\_2023年度分
- ・従業員のダイバーシティ 男女別管理職比率 女性\_2023年度分

**報告規準**  
レポート内に含まれる選定情報は、レポートに記載された報告規準と共に読まれ理解される必要がある。

**限定と除外**  
以下に関する情報のいかなる検証も、我々の業務範囲からは除外される。  
・定められた検証期間の外での活動  
・「選定情報」として挙げられていない、レポート内の他の情報  
限定的保証は、リスクに基づいて選択されたサステナビリティデータのサンプルと、これに伴う限界に依拠している。この独立報告書は、存在するかもしれないすべての誤り、欠損、虚偽表示を検出するための根拠とされるべきではない。

**責任**  
レポート内の保証の対象とされた情報の作成と提示は、オカムラ単独の責任である。  
ビューローベリタスはレポート又は報告規準の作成に関与していない。我々の責任は、以下の通りである。  
・保証の対象とされた情報が報告規準に準拠して作成されたかどうかについて、限定的保証を行うこと  
・実施した手続きと入手した証拠に基づいて、独立した結論を形成すること  
・我々の結論をオカムラに報告すること

Ref. BVJ\_21251172



INDEPENDENT ASSURANCE STATEMENT

To: Okamura Corporation



Bureau Veritas Japan Co., Ltd. (Bureau Veritas) has been engaged by Okamura Corporation (Okamura) to provide limited assurance over its sustainability information selected by Okamura. This Assurance Statement applies to the related information included within the scope of work described below.

**Selected information**  
The scope of our work was limited to assurance over the following information included within the Sustainability report 2024 (the report) of Okamura Group for the period of April 1, 2023 through March 31, 2024 (some data is from March 21, 2023 to March 20, 2024) (the "Selected Information"):

**Okamura**

- Gender wage gap (ratio of women's wages to men's wages); All employees Fiscal 2023
- Gender wage gap (ratio of women's wages to men's wages); Regular employees Fiscal 2023
- Gender wage gap (ratio of women's wages to men's wages); Non-regular employees Fiscal 2023
- Childcare leave acquisition rate; Total Fiscal 2023
- Childcare leave acquisition rate; Male Fiscal 2023
- Childcare leave acquisition rate; Female Fiscal 2023
- Employee diversity Percentage of managers by gender; Male Fiscal 2023
- Employee diversity Percentage of managers by gender; Female Fiscal 2023

**Reporting criteria**  
The Selected Information included within the report needs to be read and understood together with the reporting criteria stated in the report of Okamura group.

**Limitations and Exclusions**  
Excluded from the scope of our work is any verification of information relating to:  
- Activities outside the defined verification period;  
- Any other information within the report, which is not listed as the "Selected Information".  
This limited assurance engagement relies on a risk based selected sample of sustainability data and the associated limitations that this entails. This independent statement should not be relied upon to detect all errors, omissions or misstatements that may exist.

**Responsibilities**  
This preparation and presentation of the Selected Information in the report are the sole responsibility of the management of Okamura.  
Bureau Veritas was not involved in the drafting of the report or of the Reporting Criteria. Our responsibilities were to:  
- obtain limited assurance about whether the Selected Information has been prepared in accordance with the Reporting Criteria;

Ref. BVJ\_21251172

